つぎの快適をつくろう。

CORONA

2027年3月期
第2四半期（中間期）
決算説明資料

代表取締役社長　大桃　満

東証スタンダード市場　証券コード 5909
https://www.corona.co.jp/
2026年　10月

（注）本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成しております。
実際の業績につきましては、今後様々な要因により見通しと異なる場合があり得ることをご承知おき下さい。

説明内容

1. 会社概要

2. 2027年3月期　第2四半期（中間期）
   連結業績ハイライト

3. 2026ビジョン及び第10次中期経営計画

4. 2027年３月期　通期計画

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

1. 会社概要

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

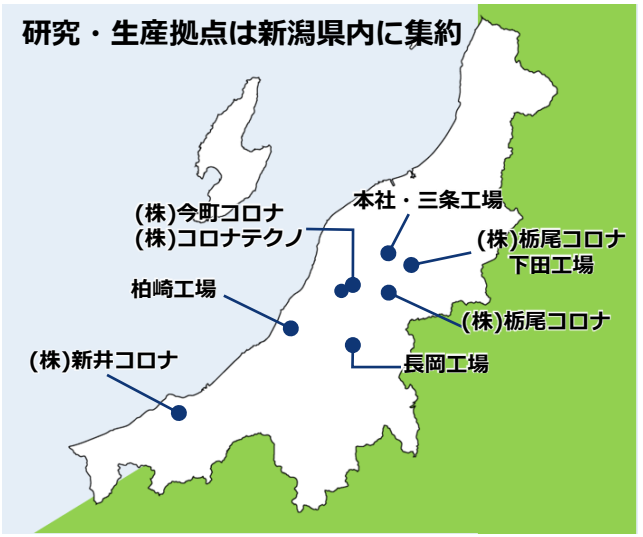
会社概要

- **創　　業**　1937年（昭和12）４月
- **本　　社**　新潟県三条市東新保７番７号
- **資　本　金**　74億4,960万円
- **単元株主数**　9,442名
- **主な事業所**
  - **研究所**　技術開発センター（三条市）、柏崎技術センター（柏崎市）
  - **生産拠点**　新潟県内８工場（三条、柏崎、長岡、子会社５工場）
  - **営業拠点**　支店11、営業所54
- **従業員数**　2,091名（連結）
- **関係会社数**　連結子会社12社、関連会社１社

（2026年9月30日現在）



日本で初めて開発・販売した
加圧式石油ストーブ



研究所・生産拠点（メードイン・新潟）

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

事業内容（主な商品）

つぎの快適をつくろう。
CORONA

住宅設備機器


エコキュート


石油給湯機


ヒートポンプ式
温水暖房（エコ暖）


地中熱・空気熱ハイブ
リッド冷温水システム


アクアエア商品

暖房機器


石油ファンヒーター


ポータブル
石油ストーブ


寒冷地向け
石油暖房機


遠赤外線電気暖房機


自然対流形
電気暖房機

空調・家電機器


セパレートエアコン

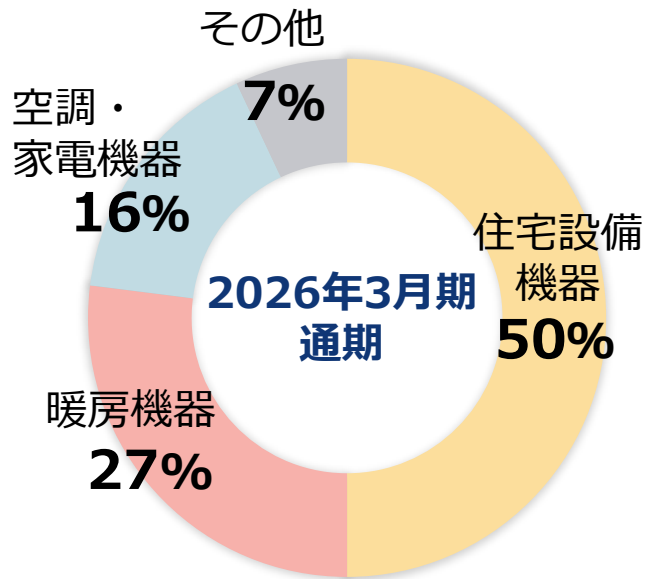

ウインドエアコン

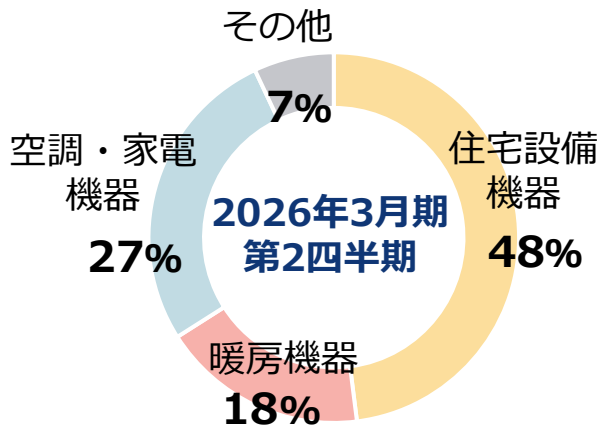

除湿機


冷風・衣類乾燥
除湿機


加湿器

売上高構成比(前期実績)





Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

2. 2027年3月期　第2四半期（中間期）連結業績ハイライト

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第2四半期（中間期）　連結業績ハイライト

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■ 売上高はエコキュートなど住宅設備機器の販売減少に加え、暖房機器、空調・家電機器の減少もあり前期、当初予想を下回る

■ 各利益は売上高の減少に加え、原材料などの仕入価格が大きく上昇した影響によりそれぞれ減少

（単位：百万円）	26年3月期 中間期実績	27年3月期 中間期実績	前中間期比		27年3月期 中間期計画	当初計画比	
			増減額	増減率 (%)		増減額	増減率 (%)
売上高	40,220	39,517	△702	△1.7	40,600	△1,082	△2.7
営業利益	△599	△675	△76	–	△500	△175	–
経常利益	△364	△423	△59	–	△300	△123	–
親会社株主に帰属する 中間純利益	△259	△286	△27	–	△300	13	–

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第２四半期（中間期）　連結業績推移

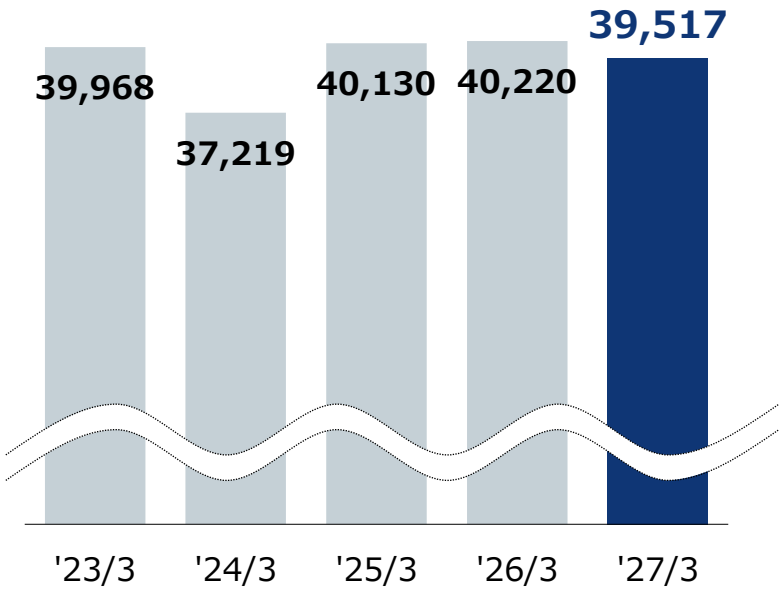
つぎの快適をつくろう。
CORONA

■ 第2四半期の売上高は3期ぶりの減収、販売構成比の変化や仕入価格・販管費上昇もあり各利益は減少傾向、生産合理化や経費削減など全社を挙げた取り組みを実行し利益回復に努める

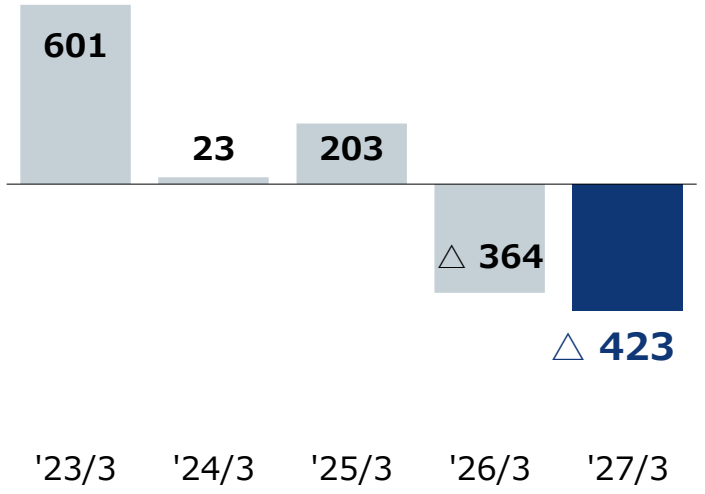
※当社の売上高及び利益は暖房機器の割合が高い第3四半期に増加する傾向

（単位：百万円）

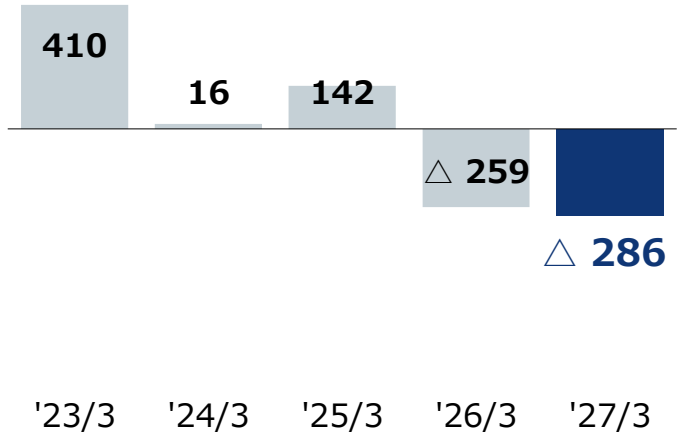
売上高



経常利益



中間純利益



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第２四半期（中間期）　連結P/L分析

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■仕入価格高騰や操業度の低下等により原価率が上昇、経費削減の取り組みもあり販管費率は低下

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期実績	2027年3月期 中間期実績	前中間期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	**40,220**	**39,517**	**△702**	**△1.7**
売上原価	32,330	31,932	△397	△1.2
売上総利益	**7,889**	**7,585**	**△304**	**△3.9**
販管費	8,488	8,260	△228	△2.7
営業利益	**△599**	**△675**	**△76**	**－**
営業外収益	239	258	19	7.9
営業外費用	4	6	2	50.7
経常利益	**△364**	**△423**	**△59**	**－**
特別利益	5	78	73	－
特別損失	1	1	0	41.5
税金等調整前中間純利益	**△360**	**△347**	**12**	**－**
法人税等	△100	△60	40	－
親会社株主に帰属する中間純利益	**△259**	**△286**	**△27**	**－**

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第２四半期（中間期）　連結売上高・製品種類別構成推移

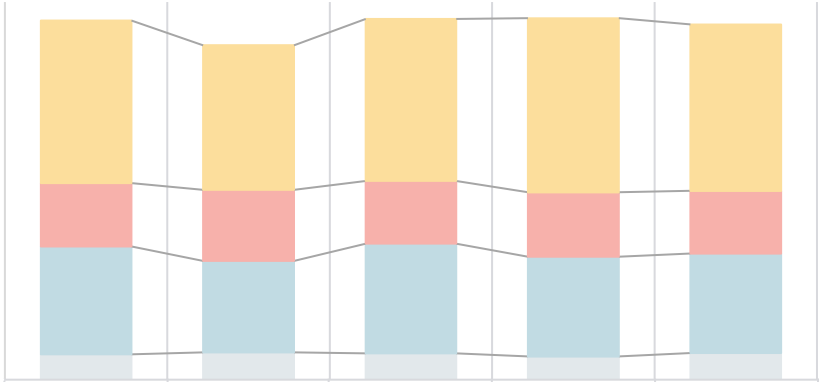
つぎの快適をつくろう。
CORONA

■ 構成比：エコキュートの販売減少等により住宅設備機器が47%に低下

※給湯・住設システム等の販売強化で住宅設備機器の構成比を高め、季節要因による変動を抑え、売上高の平準化を図る方針

金額

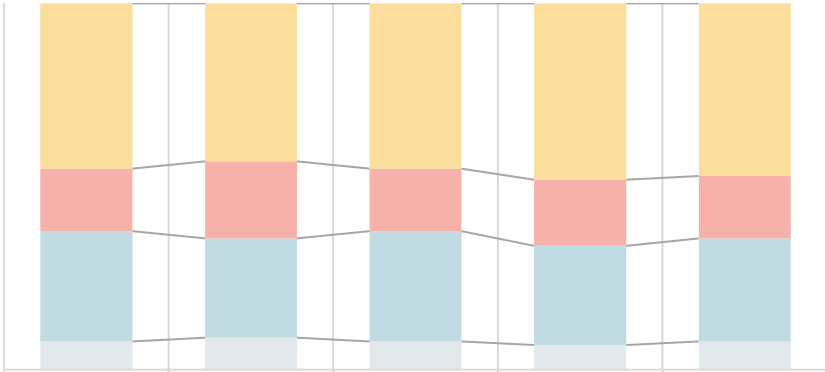
（単位：百万円）



	23/3	24/3	25/3	26/3	**27/3**
住設	17,983	15,978	17,903	19,238	**18,393**
暖房	6,999	7,850	6,931	7,137	**6,923**
空調	11,914	10,106	12,111	11,008	**10,986**
その他	3,071	3,283	3,183	2,836	**3,214**

構成比

（単位：%）



	23/3	24/3	25/3	26/3	**27/3**
住設	45	43	45	48	**47**
暖房	17	21	17	18	**17**
空調	30	27	30	27	**28**
その他	8	9	8	7	**8**

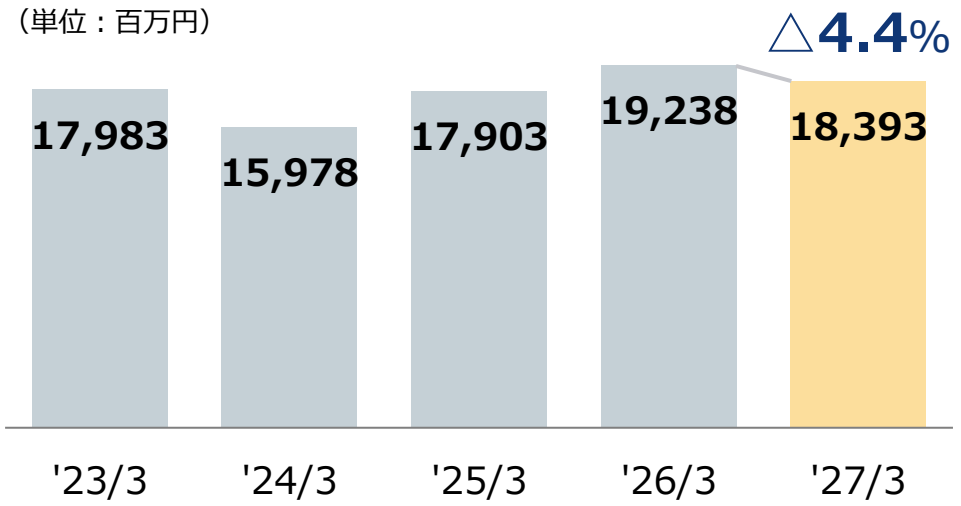
Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第２四半期（中間期）　製品種類別売上高分析　■住宅設備機器

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■エコキュートは政府の補助金制度に対応した新モデルを中心に拡販を図るも、競合他社の攻勢・ミドルクラスでの苦戦等で前年を下回る、石油給湯機における販売強化の取り組み、電気温水器では集合住宅における買い替え需要の取り込みが順調に進んだものの全体を補うには至らず減収

売上高推移



主要製品売上高・販売台数 前中間期比増加率		
エコキュート	売上高	△5.3 %
	台数	△7.9 %
石油給湯機	売上高	+0.5 %
	台数	△0.3 %
電気温水器	売上高	+33.7 %
	台数	+35.1 %


エコキュート


石油給湯機


電気温水器


ヒートポンプ式温水暖房（エコ暖）


地中熱・空気熱ハイブリッド冷温水システム


アクアエア商品
（左から）ナノリッチ、ナノリフレ、ナノフィール

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

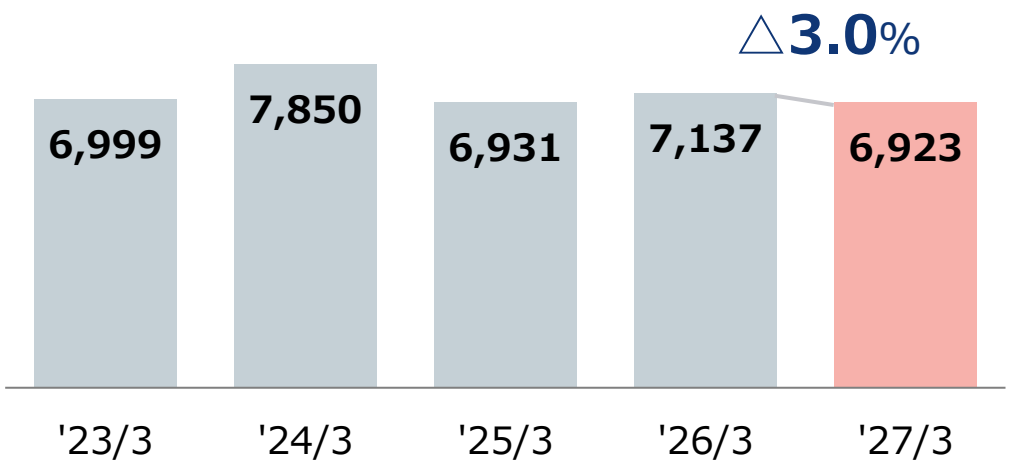
第２四半期（中間期）　製品種類別売上高分析　■暖房機器

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■第3四半期以降の需要期に向けた提案活動が中心、石油暖房機の輸出も順調に推移したものの、前年に比べ流通在庫が多かったことなどが影響し減収

売上高推移

（単位：百万円）



主要製品売上高・販売台数 前中間期比増加率		
石油ファンヒーター	売上高	+9.0 %
	台数	△7.7 %
ポータブル石油ストーブ	売上高	△19.8 %
	台数	△9.0 %
寒冷地向け石油暖房機	売上高	△2.0 %
	台数	△0.4 %


石油ファンヒーター（FH）



ポータブル石油ストーブ（PO）


寒冷地向け石油暖房機


遠赤外線電気暖房機


自然対流形電気暖房機

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

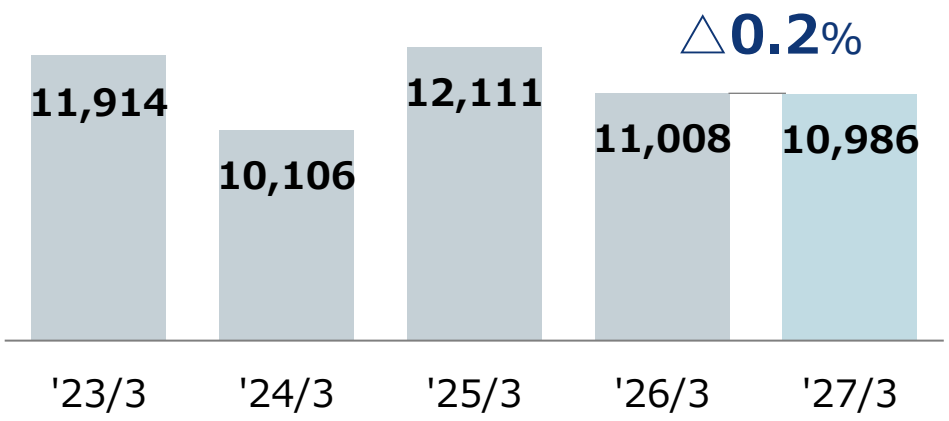
第２四半期（中間期）　製品種類別売上高分析　■空調・家電機器

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■セパレートエアコンが2027年4月からの省エネ基準引き上げを背景とした需要などにより増加、新商品のポータブルエアコンも好調に推移、しかしながらウインドエアコンの販売が低調に推移したことなどにより減収

売上高推移

（単位：百万円）



主要製品売上高・販売台数 前中間期比増加率		
ルームエアコン計	売上高	△1.9 %
	台数	△6.1 %
うち ウインドエアコン	売上高	△7.9 %
	台数	△8.9 %


ルームエアコン
（セパレートタイプ）


ウインドエアコン


除湿機


壁掛け形除湿機


冷風機・ポータブルエアコン

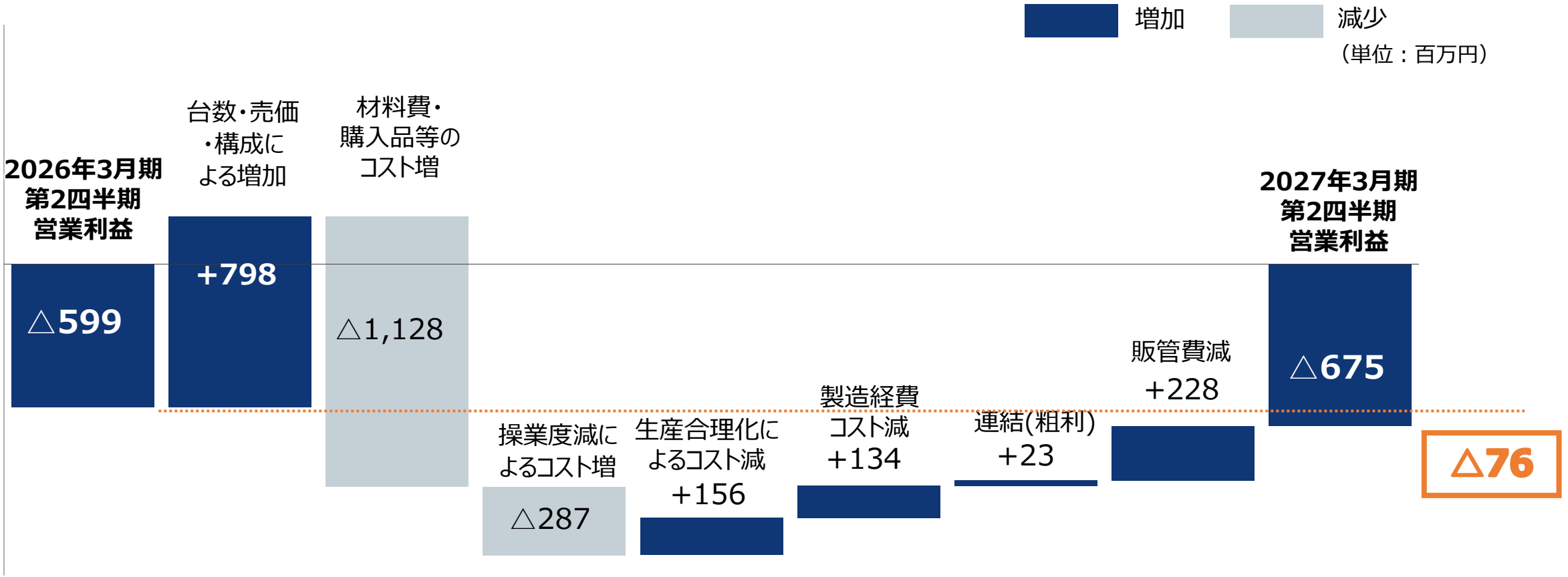

加湿器

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第２四半期（中間期）　連結営業利益増減要因

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■仕入価格上昇に伴う販売価格への転嫁、販管費など経費削減や生産合理化の取り組みを進めたものの、仕入価格が大きく上昇したことや販売減少とそれに伴う操業度の低下により営業利益が減少



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第２四半期（中間期）　連結B/S分析

つぎの快適をつくろう。
CORONA

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期実績	2027年3月期 中間期実績	前中間期比	
			増減額	増減率（%）
（資産の部）				
流動資産	54,301	51,882	△2,418	△4.5
固定資産	49,240	48,630	△609	△1.2
資産合計	103,541	100,513	△3,028	△2.9
（負債の部）				
流動負債	24,364	19,375	△4,989	△20.5
固定負債	3,097	3,615	517	16.7
負債合計	27,461	22,990	△4,471	△16.3
純資産合計	76,080	77,523	1,442	1.9
負債、純資産合計	103,541	100,513	△3,028	△2.9

●資産の部　　（流動）現金及び預金△1,112、売上債権△1,327、有価証券△897、棚卸資産+760
　　（固定）投資有価証券△1,335、退職給付に係る資産+1,357
●負債の部　　（流動）仕入債務△4,476、（固定）繰延税金負債+516
●純資産の部　株主資本等+172、その他の包括利益累計額+1,270

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

3．2026ビジョン及び
第10次中期経営計画 取組状況

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

2026ビジョン・第10次中期経営計画の位置付け

つぎの快適をつくろう。
CORONA

- 創業90周年を見据えた「2026ビジョン」に基づき、「利益ある成長経営」と「新規領域への挑戦」への取り組みを継続させ、「持続可能な社会の実現(サステナビリティ)に貢献する企業」を目指す

1935年（昭和10）
「コロナ」
商標登録

1952年（昭和27）
日本初
加圧式石油コンロ
発売



1955年（昭和30）
日本初
加圧式石油ストーブ
発売



2025.7
機械遺産認定

2050年
カーボン
ニュートラル

2026
ビジョン

中長期視点の
方向性

第９次
中計

第10次
中計

第11次
中計

1937年（昭和12）
新潟県三条市にて創業

2001年（平成13）
世界初
CO_2ヒートポンプ給湯機
「エコキュート」発売

2025

2027年
創業90周年

2030

2037年
創業100周年

2050

Beyond 90 years.
コロナは2027年に創業90周年を迎えます。

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

つぎの快適をつくろう。
CORONA

2026ビジョン

1 脱炭素社会への貢献 レジリエンスな社会

ひとの快適から、地球の快適まで。

エネルギーを使う企業として、2050年のカーボンニュートラルは、切っても切れない関係です。
ヒートポンプ、電気、再生可能エネルギーを効率利用し、今よりもっと地球環境配慮型のものづくりを。
平時も有事も、しなやかに暮らせる、レジリエンスな社会を目指したものづくりを。
いざという時にライフラインを支える灯油も大事にしながら、地球の快適に貢献していきます。

2 快適の進化 暮らしの質向上

楽を超え、楽しみまで生み出す快適へ。

これまで、私たちは、暖房・空調・給湯といった暮らしにかかせないものを生み出してきました。
そして、「もっと使いやすく」を合言葉に、製品の進化に日々、取り組んできました。
使いやすいことが当たり前になった今。楽をさせるを超え、豊かさや楽しみをもたらす、
ものづくりを目指していく。家の中にとどまらず、家の外にも視野を広げ、新領域へと拡大していきます。

3 利益体質への転換

暮らしの快適とともに、作り手の快適も。

ものづくりを通して、ひとの幸せを考える。それと同時に、働く自分たちが幸せであることも大切です。
業務の効率化やスピードアップなど、現状を見直し、改善していくのはもちろん、
従業員一人ひとりの働きやすさを追求する。前例にとらわれず、新しいやり方に取り組む。
それらが、最終的に、ひとの快適と会社の成長につながっていくと信じて。

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第10次中期経営計画　目指す姿　全体像

つぎの快適をつくろう。
CORONA

企業ミッション

快適で心はずむ毎日	環境にやさしい暮らし	だれでもいつでも安心な社会

「**提供価値(value)**」とそれを支える「**エネルギー(energy)**」の双方で変革が必要

エネルギー

灯油 41%　HP 52%　再エネ 0.1%　電気 7%

HPが増加し売上を支える一方で灯油頼みの利益構造

単体売上高に占める割合(2024年度実績)

→ **ヒートポンプ・電化機器の拡大**

エネルギーの多様化

→ **脱炭素社会への貢献**
レジリエンスな社会

提供価値

家の中・インフラ中心

暖房　空調　給湯

＋ **暮らす楽しみの創出**

家の外での快適

→ **快適の進化**
暮らしの質向上

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第10次中期経営計画（2025～2027年度）「変わる、そして挑む」

つぎの快適をつくろう。
CORONA

CORON Action.

	ひとの快適から、 地球の快適まで。	楽を超え、 楽しみまで生み出す快適へ。	暮らしの快適とともに、 作り手の快適も。
基本戦略	**基本戦略1** **脱炭素社会に向けた 事業ポートフォリオの再構築**	**基本戦略2** **「楽」から「楽しい」への 事業領域拡大**	**基本戦略3** **経営基盤の再構築**
事業戦略 機能戦略	**事業戦略1.1** エコキュートを柱とした成長分野への投資と事業収益の拡大	**事業戦略2.1** アウトドアの領域拡大	**機能戦略3.1** 業務プロセス改革とDX推進
	事業戦略1.2 ヒートポンプ・電化商材による住設事業の拡張	**事業戦略2.2** QOL向上商品の拡大 QOL=Quality of Life(生活の質)	**機能戦略3.2** 開発のリソース最適化とスピードアップ
	事業戦略1.3 新たな要素技術・新エネルギーのR&D		**機能戦略3.3** 人財活力の向上

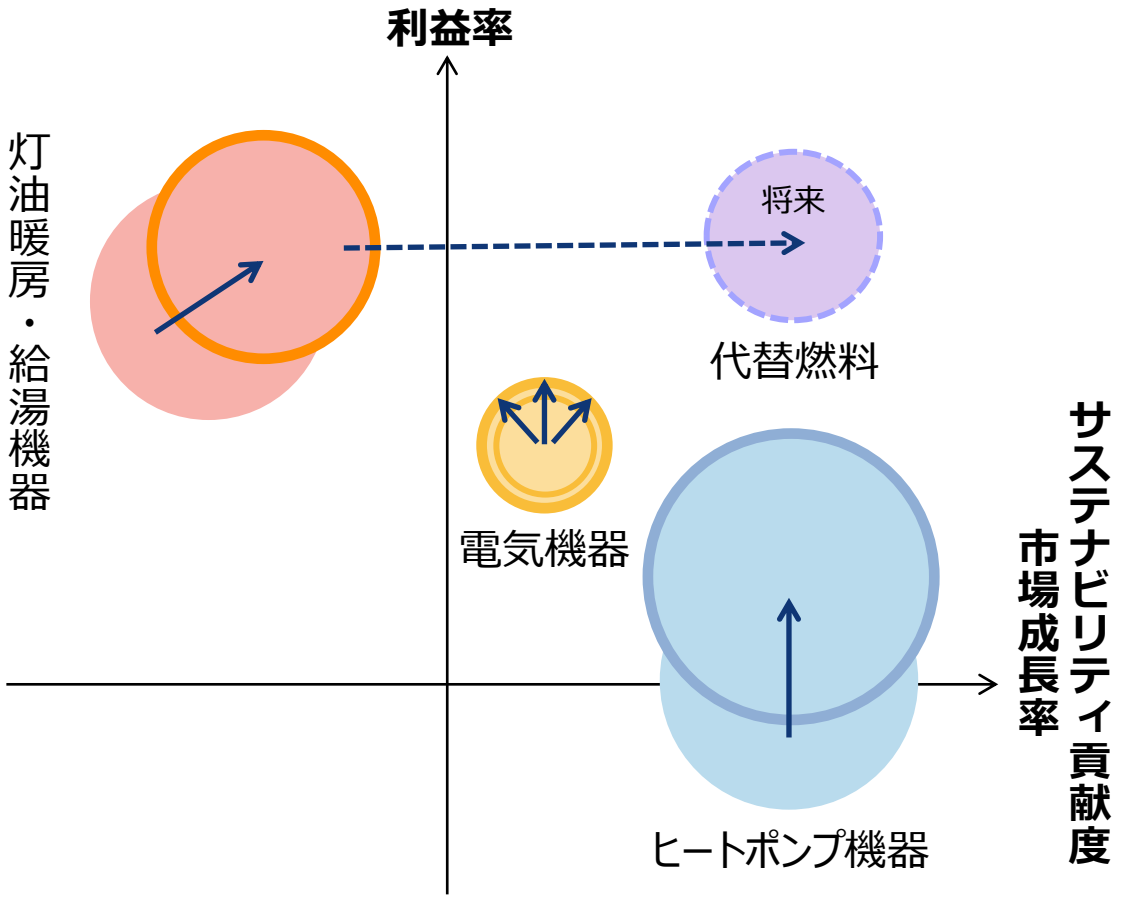
重点施策			
ブランディング推進	海外市場の探索	顧客接点・D2C強化	業務パフォーマンス向上 ⇒入りをはかり、出づるを制する

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

【基本戦略１】脱炭素社会に向けた事業ポートフォリオの再構築

つぎの快適をつくろう。
CORONA

- サステナビリティな社会の実現に貢献するため、暮らしの基盤となる暖房・空調・給湯においてCO_2排出量削減に寄与する機器を拡大
- 平時も有事も健康的な生活を継続できる高いレジリエンス性を持つ機器を提供し、安心な社会へ貢献する



円の大きさは売上高を示す。2024年度着地見込みと2030年度予測の比較(代替燃料は2050年以降を想定)

エネルギー	主な施策
ヒートポンプ	・エコキュートの規模拡大に向けた設備・開発への投資 ・CFT活動※によるバリューチェーン全体でのコスト削減 ・ZEH、GX志向型住宅へ向けた販売活動強化
電気	・社会課題や生活者課題に資する商品・住宅設備システムのバリエーション拡充
灯油	・少油量での燃焼、潜熱回収、遠赤外線技術などの強みを活かした省エネ性の追求 ・レジリエンスへの貢献
代替燃料	・将来に向けた次世代燃料の燃焼技術研究 ・水素の利活用研究

※Cross Functional Team：全社的な経営課題を解決するために複数の部門から選出されたメンバーによるチーム

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

【基本戦略１】トピックス

2026年度モデル　エコキュート

- 新補助金制度に対応し、給湯圧力を高めるなど商品性能を向上させた2026年度モデルを4月から発売
- 「給湯省エネ2026事業」の補助金加算要件を満たすミドルクラスの「アドバンス」タイプを8月から新たにラインアップ
- セキュリティ要件への適合を示す「JC-STAR」適合ラベル★１（レベル１）を取得



JAPAN CYBERSECURITY LABEL
ジャパン・サイバーセキュリティ・ラベル
JC-STAR
Registered ID: 2026030600001681
Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

壁掛け形衣類乾燥除湿機「いつでもカラット」

- 近年、採用が増えているランドリールームなどの壁に設置できる日本初※・壁掛け衣類乾燥除湿機を5月から発売
- 「デシカント方式」で冬でも除湿能力が落ちず1年中使用可能、除湿した水分は屋外へ排出し水捨ても不要
- 子どもや子育て世帯のくらしに寄り添う製品として、キッズデザイン賞「出産・子育て支援部門」受賞

KIDS DESIGN AWARD 2026



※衣類乾燥機能を強化した家庭向け壁掛け形デシカント式除湿機において。2026年5月発売。

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

【基本戦略2】「楽」から「楽しい」への事業領域拡大

つぎの快適をつくろう。
CORONA

熱中症やヒートショックなどの家庭内に潜む不安や、家事負担の軽減に寄与することで、ストレスを低減し暮らしの質向上に寄与する

＋

「暮らす楽しみ(心はずむ毎日)」を生み出すべく、家の外(アウトドア)での快適や「楽しさ」を生み出す商品・サービスを提供し、領域拡大を目指す



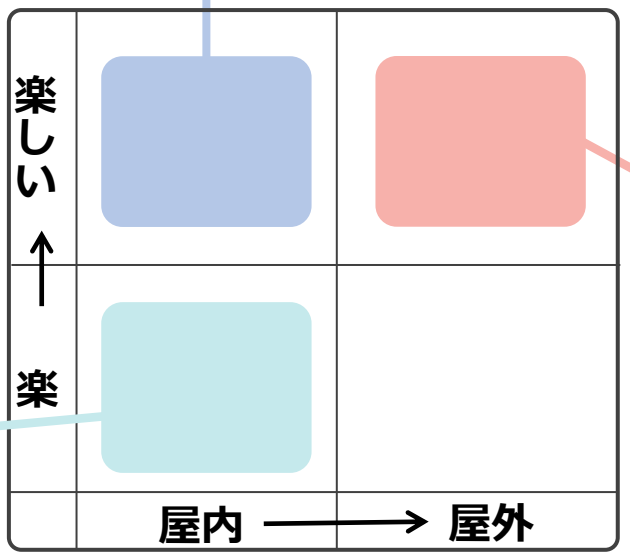
「リカちゃん」コラボ衣類乾燥除湿機





ヒートショック対策につながる
壁掛型遠赤外線暖房機が
発売10周年＆累計生産台数10万台突破

提供価値の領域



「OUTFIELD」は“暮らしを「楽」から「楽しい」へ”をコンセプトに掲げ、2023年に立ち上げたアウトドア向けブランドです



石油ストーブ



ポータブルエアコン
「BREEZE BOX」

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

【基本戦略２】トピックス

つぎの快適をつくろう。
CORONA

「BREEZE BOX(ブリーズボックス)」

- コロナが40年以上培ってきたエアコンの技術を活かしたポータブルエアコン「BREEZE BOX」を公式オンラインストア「コロナストア」で6月から発売
- 夏場のキャンプなど屋外での暑さ対策としての需要を取り込み、当初想定を大きく上回る申し込み
- 200Wの低消費電力設計、容量1,000Whのポータブル電源では約５時間の運転が可能、製品が汚れにくい独自の脚や車に積載しやすい箱型形状なども評価
- 2026年度グッドデザイン賞を受賞





「リカちゃん」コラボ 衣類乾燥除湿機

- リカちゃん（発売元：株式会社タカラトミー）とコラボした「CORONA×リカちゃん カラフルポップな衣類乾燥除湿機」を公式オンラインストア「コロナストア」で4月から発売
- リカちゃんの世界から飛び出したような「マシュマロピンク」と「ミントグリーン」の２色で展開する特別デザイン

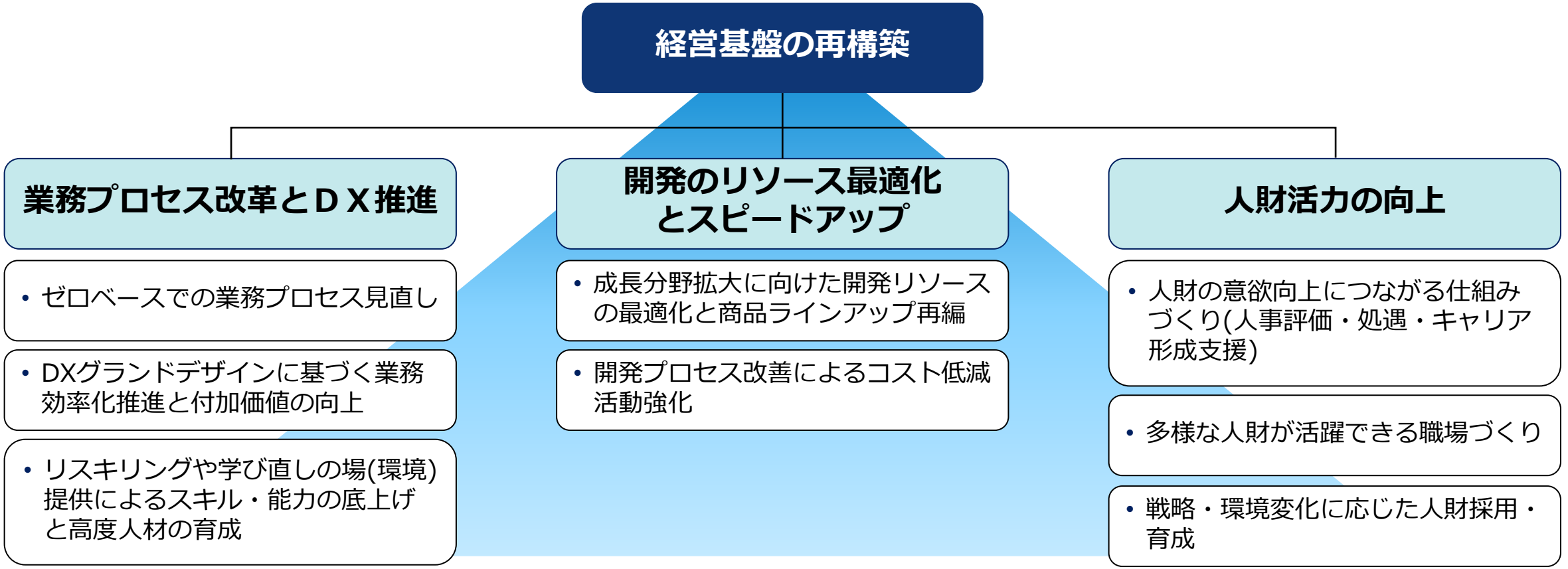


Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

【基本戦略3】経営基盤の再構築

つぎの快適をつくろう。
CORONA

- **社会環境が激変する中、当社が市場で競争力を高めるためには、現状の制度・仕組みや開発プロセス、業務の進め方など<u>ゼロベース</u>で見直すことが不可欠**
- **当社従業員が高い意欲を持って主体的に働き続けられることも重要、<u>「働きがい(働きやすさ＋やりがい)」</u>の向上を図り、経営基盤を再構築する**



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

【基本戦略３】トピックス

生成AI・DX人財育成

- **生成AIの活用**
  自社独自の生成AI環境を構築する生成AIツールを導入
- **DX人財育成**
  生成AIを業務で更に活用するための勉強会を実施
- **基幹システム刷新に向けた「業務プロセス改革」及び「業務システム可視化」プロジェクト推進**

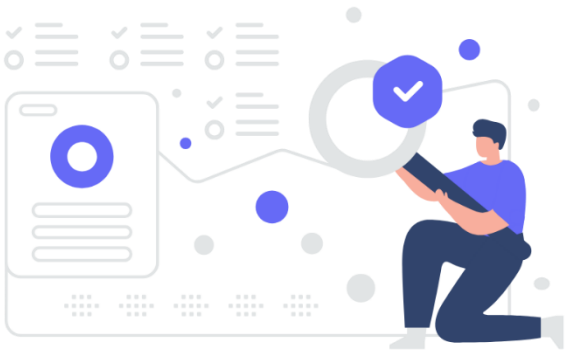


生成AI勉強会の様子



人財活力の向上

- **人事評価制度の見直し**
  現 人事評価制度の課題把握と今後の方向性を検討
- **エンゲージメントサーベイ実施**
  2024年度から2025年度で、エンゲージメントスコアは1.3ポイント上昇
  今期よりグループ会社にも展開



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

第10次中期経営計画　目標

つぎの快適をつくろう。
CORONA

- 2027年3月期以降も新商品の投入や積極的な販売活動・原価低減活動の取り組みを進めるものの、石油燃焼機器の需要減少や原材料をはじめとした仕入価格の高騰等が見込まれ、こうした厳しい経営環境が継続することを前提に最終年度である2028年3月期の経営目標を修正（2026.5発表）

	2026年3月期 実績	2028年3月期 当初計画	2028年3月期 修正計画（2026.5発表）	当初計画比 増減率
連結売上高	85,338百万円	87,800百万円	87,400百万円	△0.5 %
連結経常利益	1,316百万円	2,000百万円	1,500百万円	△25.0 %
連結経常利益率	1.5 %	2.3 %	1.7 %	ー

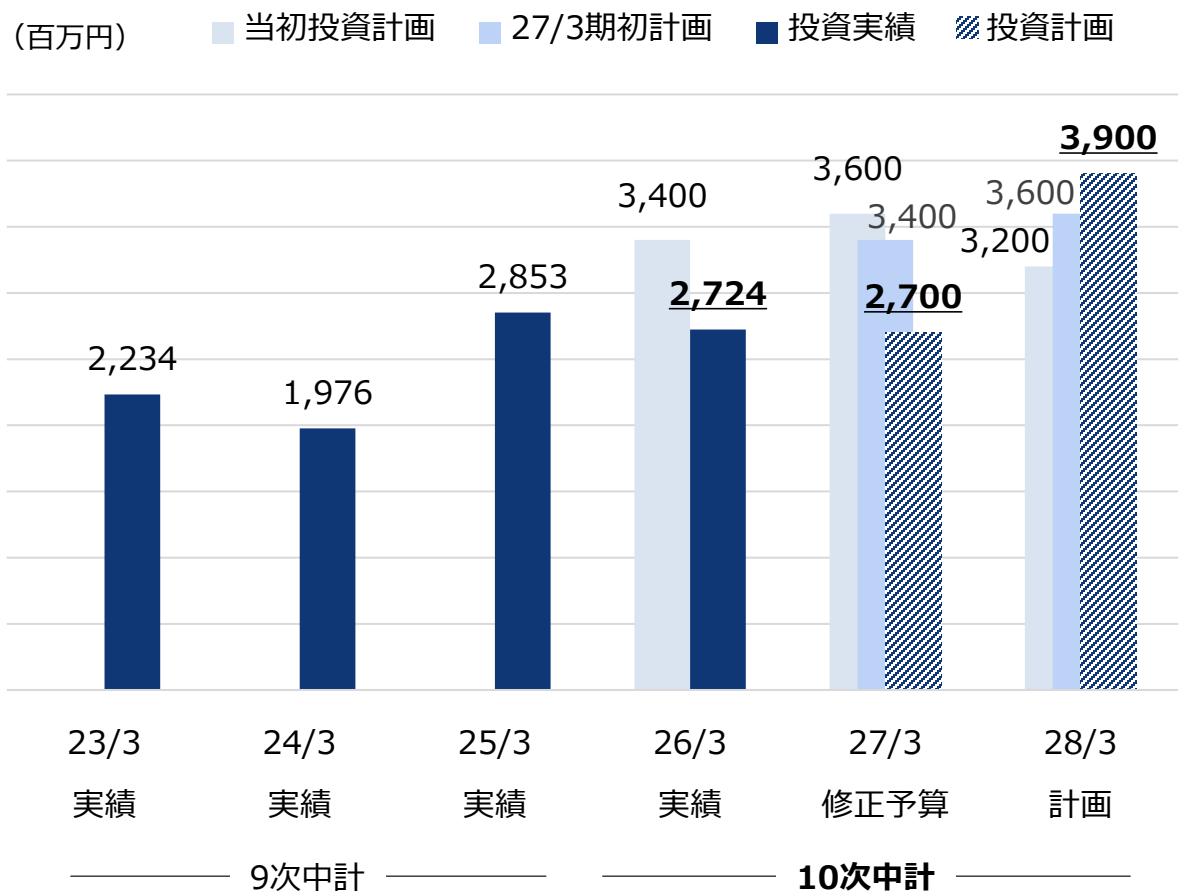
Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

投資計画

つぎの快適をつくろう。
CORONA

10次中計 投資計画（3カ年累計）　**93億円**　«前中計比　31.4%増加»

■ 年次投資計画



■ 10次中計投資計画内訳

成長戦略への投資		**61億円**
	基本戦略１ 脱炭素社会に向けた 事業ポートフォリオの再構築	28億円
	基本戦略２ 「楽」から「楽しい」への 事業領域拡大	7億円
	基本戦略３ 経営基盤の再構築	8億円
	既存事業新製品開発投資	12億円
	生産合理化・自動化投資	6億円
維持更新投資・その他		**32億円**
	生産・開発・システム設備更新	23億円
	建屋・設備修繕	9億円

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

資本政策

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社の株主資本コストはCAPM（資本資産評価モデル）により4%～5%と認識

現状認識	・現在、ROE(自己資本利益率)は1%～2%程度となっており、資本コストを大きく下回っている ・背景として、事業の柱である石油燃焼機器の減少やHP機器の競争環境の激化などによる収益成長の鈍化に加え、原材料価格高騰や物流費上昇などの影響もあり売上高利益率に課題がある ・また、充分な自己資本を有しているが、成長投資の実行、株主還元の充実に検討課題がある
改善に向けた取組	・収益性、利益率向上の取り組みとして、第10次中期経営計画の５つの事業戦略、３つの機能戦略を中核に、積極的な投資を行い、新規事業及び新製品の開発やコスト構造の見直し、製品・サービスの付加価値向上を進める ・国外での市場拡大を目指し、新規市場の探索や既存事業の強化を進める ・短期的には、コスト削減や効率化に注力し、本中計において収益力の向上を図り、ROEを改善することを目標とする

株主還元

株主還元の考え方	・中長期的な利益成長の観点から、成長投資を最優先し、株主価値向上を図るとともに、株主様に対する還元を強化するため、安定的かつ継続的な利益配分を行うことを目指し、下限配当の設定(※)に加え、業績及び財務状況などを総合的に勘案した上で、配当（特別配当等）を実施するなど、株主様に対して安定した利益還元を実現していく方針 ・自己株式の取得については、機動的な資本政策を遂行できるよう、適宜、適切な対応を検討していく

※　下限配当の設定…現状の配当(28円/年)を保証し、安定かつ継続的な配当政策

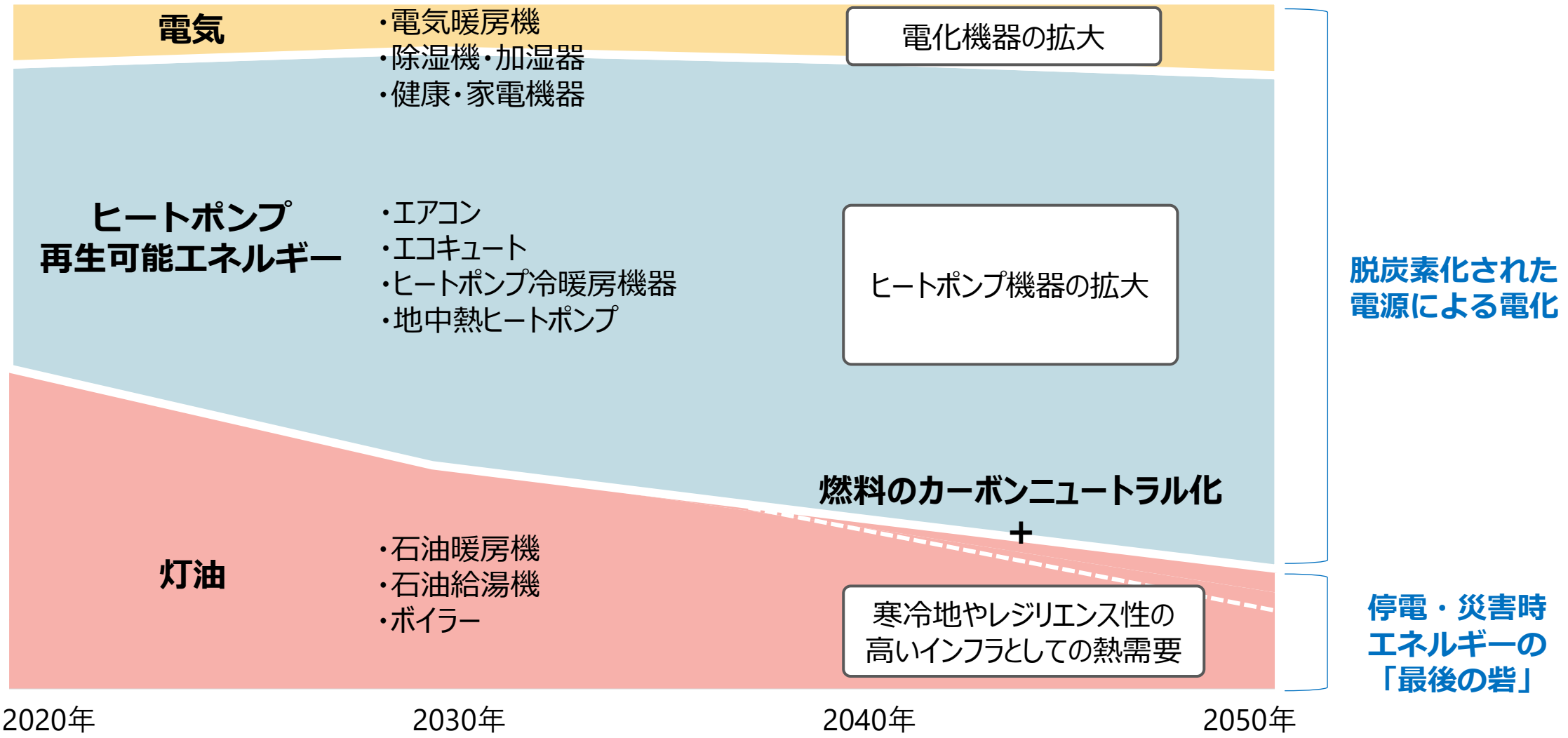
Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

カーボンニュートラル社会に向けて　－熱源構成変化－

つぎの快適をつくろう。
CORONA

2050年カーボンニュートラル社会に向けた 当社商品群における熱源構成変化

※当社試算（売上高）



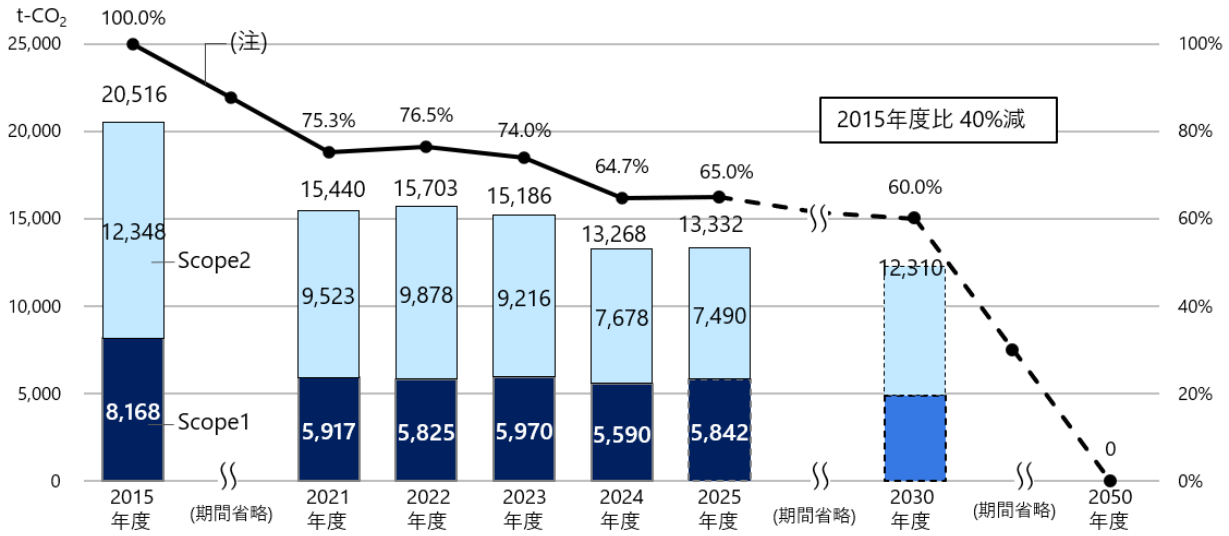
Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

カーボンニュートラル社会に向けて　－気候変動への対応－

つぎの快適をつくろう。
CORONA

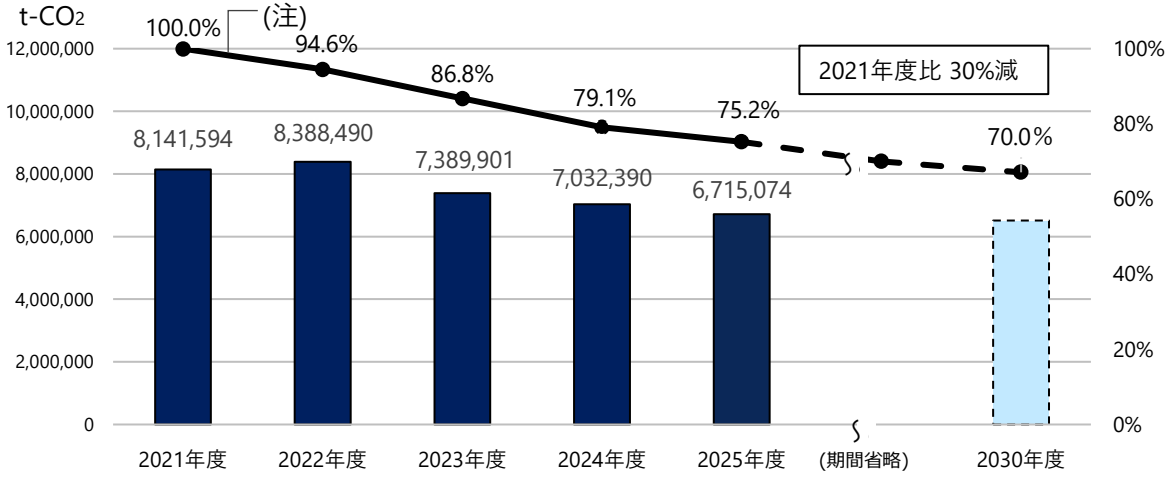
- **脱炭素社会の実現に向けて、環境に配慮した製品・サービスを提供するとともに、当社グループの事業活動において、温室効果ガス排出量・廃棄物の削減など地球環境保全に取り組む**

コロナグループの事業活動における温室効果ガス(Scope1及びScope2)排出量の推移



（注）温室効果ガス（Scope1及びScope2）排出量の基準年度(2015年度)比改善率

株式会社コロナの事業活動における温室効果ガス（Scope3）排出量



■CO2排出量・エネルギー使用量の削減

2050年度温室効果ガス排出量ネットゼロを目指した「CO_2排出量削減ロードマップ」に基づき、新潟県内８工場において、LED電球への切替えや効率の高い生産設備への更新など積極的な省エネ活動を推進する。
また、本社社屋で使用する電力の年間相当分をCO_2フリー電力に切替え、CO_2排出量削減を着実に進める。

■環境配慮型省エネ製品・サービスの提供

「CO_2排出量（Scope3）ロードマップ」に基づき、サプライチェーンにおけるCO_2排出量削減に取り組むとともに、エアコンなどのヒートポンプ式冷暖房機器やエコキュートなど暮らしの基盤となる暖房・空調・給湯においてCO_2排出量削減に寄与する事業拡大を推進する。

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

4. 2027年３月期　通期計画

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

2027年3月期　通期　連結業績見込み

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■第３四半期以降も省エネ基準引上げを背景とした需要などルームエアコンの販売増加を見込むほか、エコキュートの新製品投入や営業活動強化、製品販売価格の見直し、コスト削減などに取り組む

■しかしながら、上期の業績に加え、中東情勢や為替相場の影響などにより仕入価格の高騰が継続、その水準が当初想定を上回っていること等を踏まえ、売上高及び各利益は当初予想を下回る見込み

（単位：百万円）	2026年3月期 実績	2027年3月期 修正見込み	前期比		27年3月期 当初計画	当初計画比	
			増減額	増減率（%）		増減額	増減率（%）
売上高	85,338	84,500	△838	△1.0	86,000	△1,500	△1.7
営業利益	852	△400	△1,252	–	600	△1,000	–
経常利益	1,316	100	△1,216	△92.4	1,000	△900	△90.0
親会社株主に帰属する当期純利益	991	100	△891	△89.9	600	△500	△83.3

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

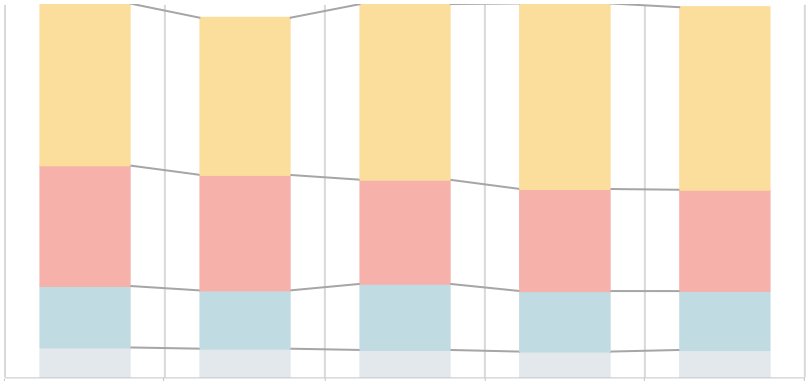
通期　連結売上高・製品種類別構成推移

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■住宅設備機器の販売減少などを見込むものの、製品種類別構成比は前年同水準となる見込み

金額

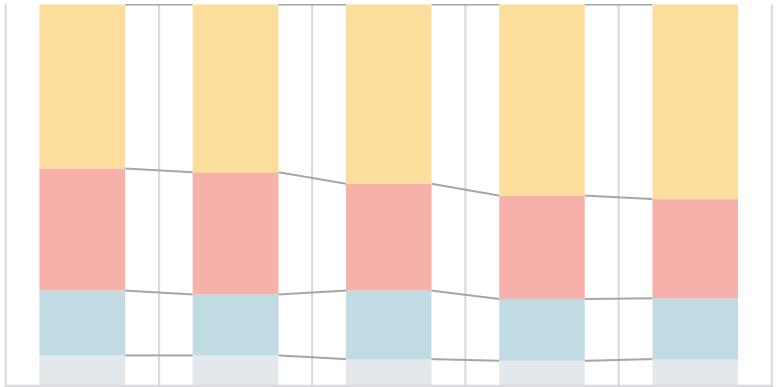
（単位：百万円）



	'23/3	'24/3	'25/3	'26/3	**'27/3予**
住設	36,993	35,870	40,095	42,367	**41,700**
暖房	27,532	26,398	23,802	23,300	**23,100**
空調	14,012	13,231	15,067	13,816	**13,500**
その他	6,797	6,545	6,248	5,853	**6,200**

構成比

（単位：%）



	'23/3	'24/3	'25/3	'26/3	**'27/3予**
住設	43	44	47	50	**50**
暖房	32	32	28	27	**27**
空調	17	16	18	16	**16**
その他	8	8	7	7	**7**

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

製品種類別売上高分析　■住宅設備機器

■エコキュートはGX志向型住宅の普及拡大や買い替え需要、高効率給湯器への補助金制度が後押し
上期は競合他社の攻勢やミドルクラスの遅れもあり苦戦したものの、補助金対応機種の拡販や新商品投入などで挽回を図るほか、生産合理化・購入部品の見直しなどコスト低減を進める

■今後一層の普及が見込まれるヒートポンプ関連商品は技術力を活用した新商品開発、他社との協業も推進

■安定した需要のある石油給湯機の拡販、集合住宅における電気温水器の買い替え需要へも対応を進める

トピックス：2026年度モデル　エコキュート

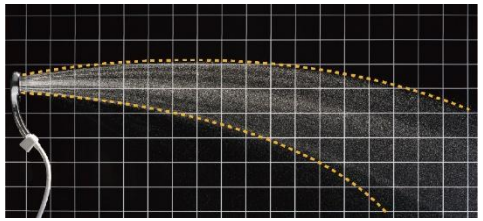
｜ミドルクラス「アドバンス」を寒冷地に拡大



寒冷地年間給湯保温効率（JIS）3.1の
「アドバンス」タイプを2027年1月より販売

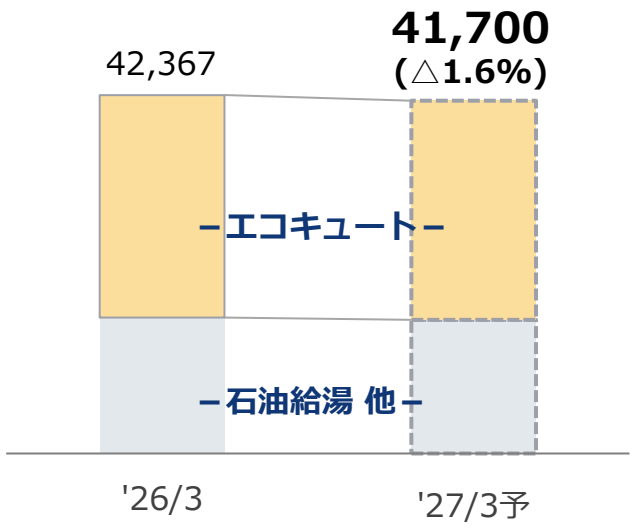
｜集合住宅用エコキュートの性能向上

減圧弁設定圧力
170kPa
→180kPa



給湯圧力を従来の170kPaから180kPaに
高めて使いやすさ向上

【通期　売上予測】　（単位：百万円）



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

高効率給湯器の導入支援事業（経済産業省）

高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金（給湯省エネ2026事業）

■家庭におけるエネルギー消費の約3割を占める「給湯」分野の省エネ化に向け高効率給湯器の導入を支援

■インターネットへの接続や省エネ性などの要件を満たした当社「エコキュート」も該当

給湯省エネ 2026事業

予算 **570億円**



ヒートポンプ給湯機
（エコキュート）

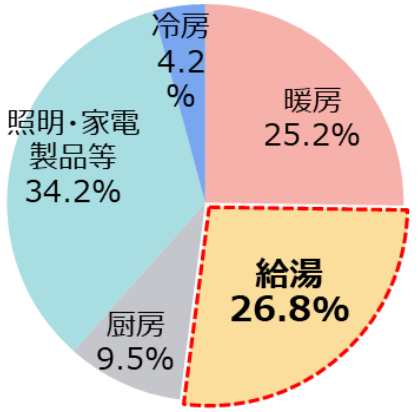
	ヒートポンプ給湯機（エコキュート）	
補助額	基本要件（A要件）	7万円/台
	上位要件（A+B）	10万円/台

※省エネ法に基づくトップランナー制度における省エネ基準を満たすもの等に限る

要件A：インターネット接続可能 かつ昼間沸き上げシフト可能な機種、または、「おひさまエコキュート」

要件B：補助要件下限機種と比べて、CO_2排出 △5%以上

2023年度家庭部門における エネルギー消費割合



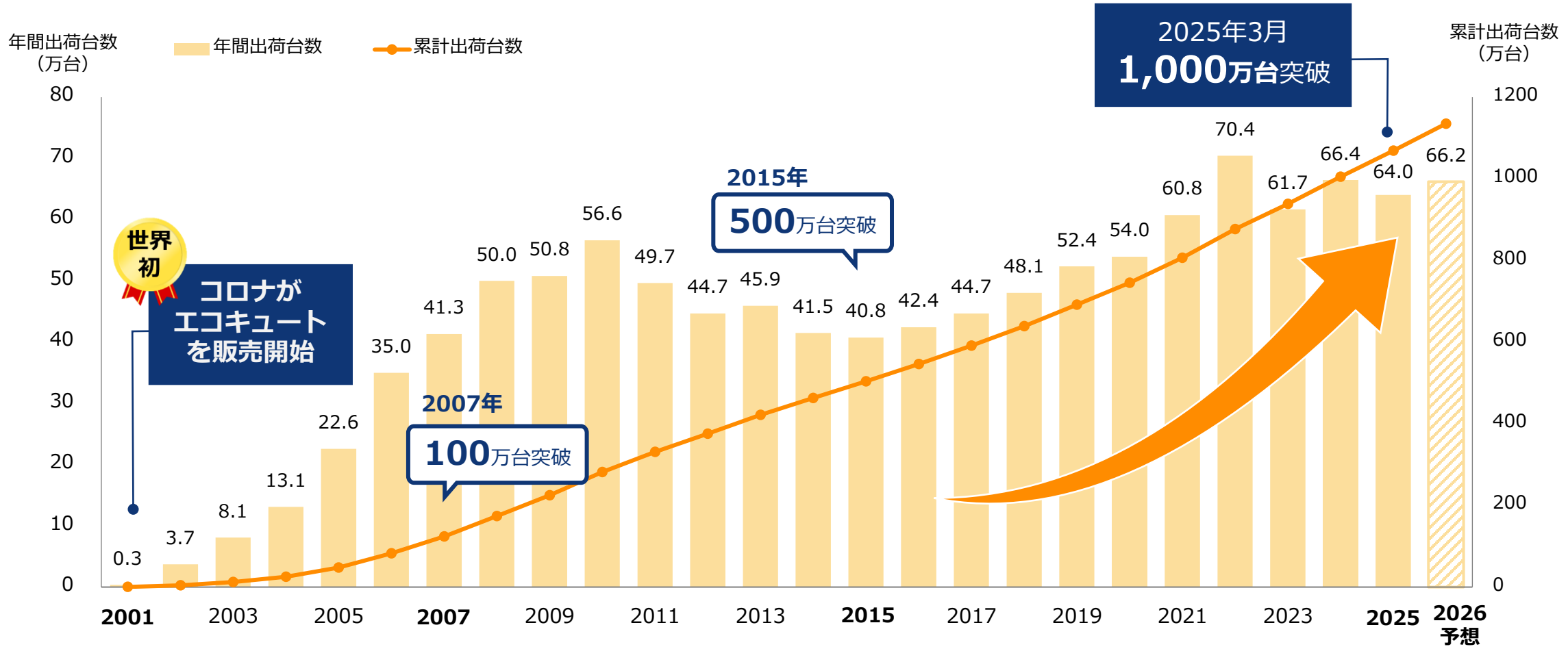
参考：環境省「家庭部門の用途別エネルギー消費量の推移」

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

参考 エコキュート市場の推移

つぎの快適をつくろう。
CORONA

■当社が世界で初めて販売した2001年以降、高効率給湯器「エコキュート」の市場は大きく拡大
業界累計出荷台数は2025年3月に1,000万台を突破



出典：一般社団法人日本冷凍空調工業会統計資料より当社調べ

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

製品種類別売上高分析　■暖房機器

■ トップシェアの石油暖房機は高い暖房能力で寒冷地を中心に根強い需要が継続
昨年の流通在庫が多い状況も上期は概ね予定通り、灯油価格や暖冬予想などの懸念はあるが需要期における販売活動に努めるほか、寒波到来に備えた需給体制の構築や防災需要の取り込みを図る

■ 石油暖房の環境負荷低減に向けた研究開発、電気など他の熱源を用いた商品の拡充、新たな需要開拓に向けた「OUTFIELD」ブランドなどの商品開発・認知拡大に取り組む

■ 新市場開拓として、海外市場の調査・新規輸出に向けた取り組みも継続

（単位：百万円）

トピックス：電気暖房機の開発

｜コアヒート新モデル



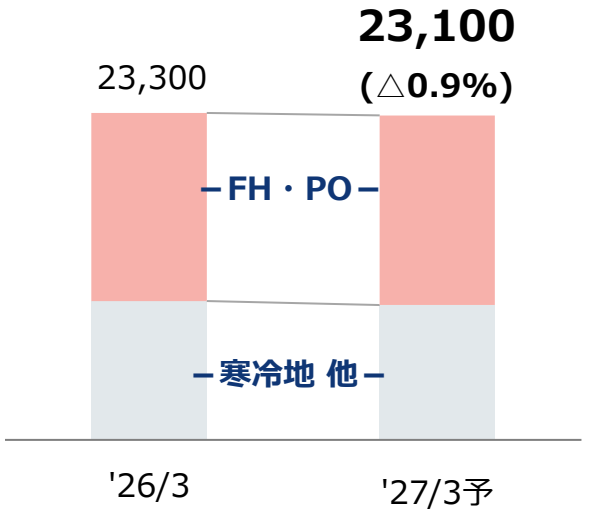
遠赤外線電気暖房機「コアヒート」に1人でも使いやすい15度の微小首振り運転を新たに追加

｜ウォールヒート　10周年＆10万台



壁掛型遠赤外線暖房機「ウォールヒート」が発売10周年＆累計生産台数10万台突破

【通期　売上予測】



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

製品種類別売上高分析　■空調・家電機器

- ■ ルームエアコンは、省エネ基準の引き上げに伴う需要はあるものの、競合他社との価格競争が激化
  付加価値機種を中心に提案活動を進めるほか、省エネ基準に対応した新商品開発、ウインドエアコンやポータブルエアコンなど独自のラインアップで幅広いニーズに対応し拡販を図る
- ■ 除湿機は夏場以降の降水量増加に伴い販売が増加、下期も部屋干しニーズを捉えた訴求を推進
- ■ 下期は加湿器も乾燥対策や感染予防など幅広いシーンで活躍、タレントのCM起用など認知度向上に取り組む

トピックス：空調・家電機器の商品開発

｜省エネ基準に対応したZシリーズ



Z SERIES
目標年度
2027年

・ルームエアコン上位モデル「Zシリーズ」は、6畳用～14畳用の機種で2027年度新省エネ基準を達成
・順次省エネ基準をクリアしたモデルを投入予定

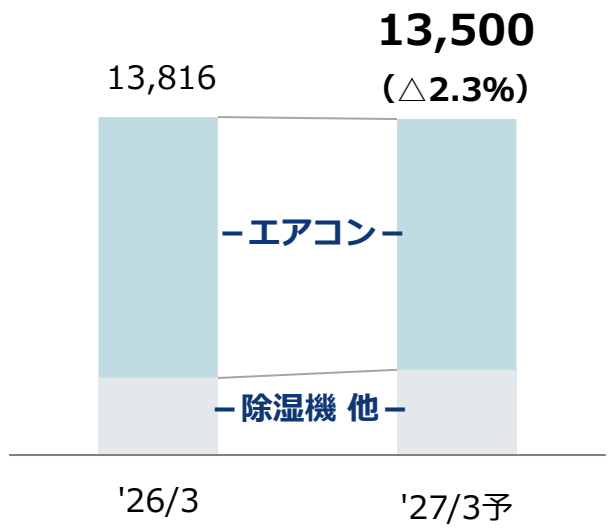
｜いつでもカラット



・壁掛け形衣類乾燥除湿機「いつでもカラット」のCMを放映開始
・使用シーンの拡大に向けた展開・研究開発を進める

（単位：百万円）

【通期　売上予測】



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

通期　連結財務諸表の推移

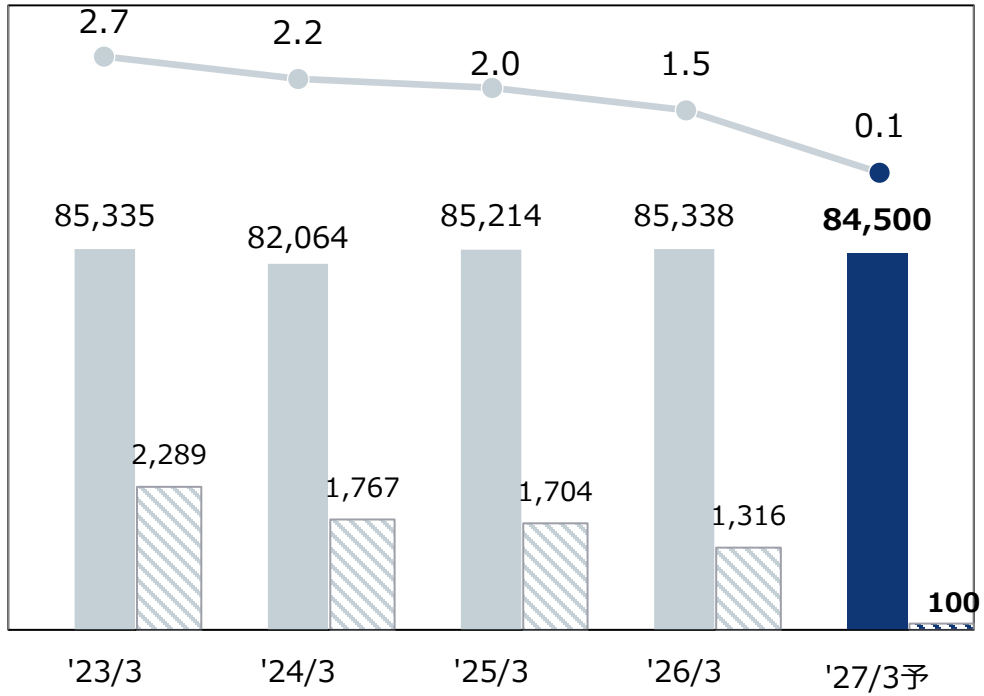
つぎの快適をつくろう。
CORONA

■ 資本政策の基本方針
持続的な成長のための投資と、事業特性によるリスク等を許容する健全な財務体質を確保することと、
安定的・継続的な株主還元を実施

■ 中長期的な利益成長の観点から、成長投資を最優先し株主価値向上を図るとともに、株主還元を強化

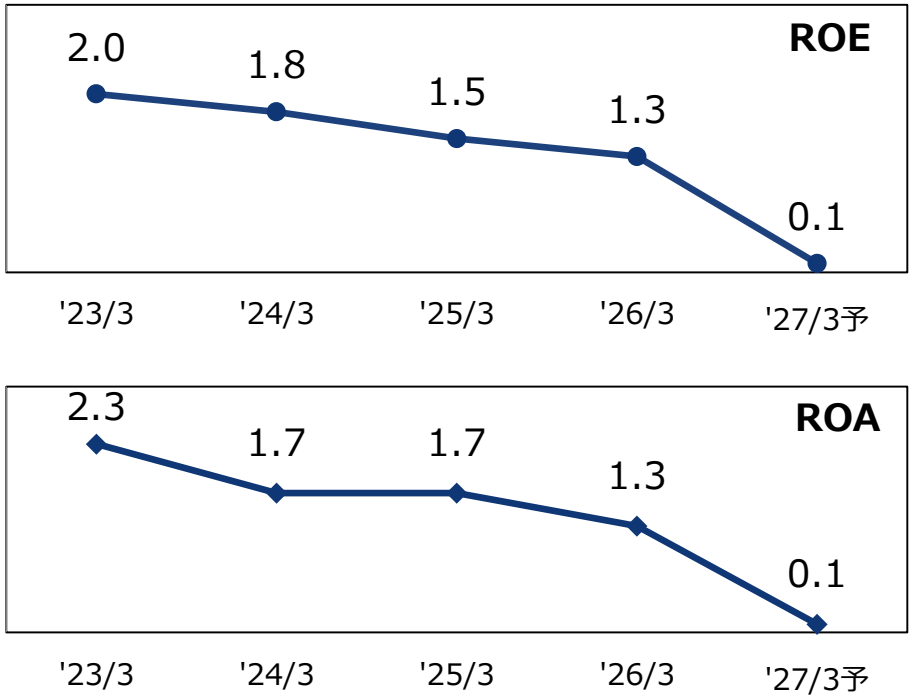
売上高・経常利益・経常利益率

（単位：百万円・%）



ROE・ROA

（単位：%）



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

配当金について

つぎの快適をつくろう。
CORONA

2027年3月期　年28円の配当を予定

- 安定的かつ継続的な利益配分を行うことを目指し下限配当（28円）を設定
- 業績及び財務状況などを総合的に勘案した上で、配当（特別配当等）を実施するなど安定した利益還元を実現していく方針

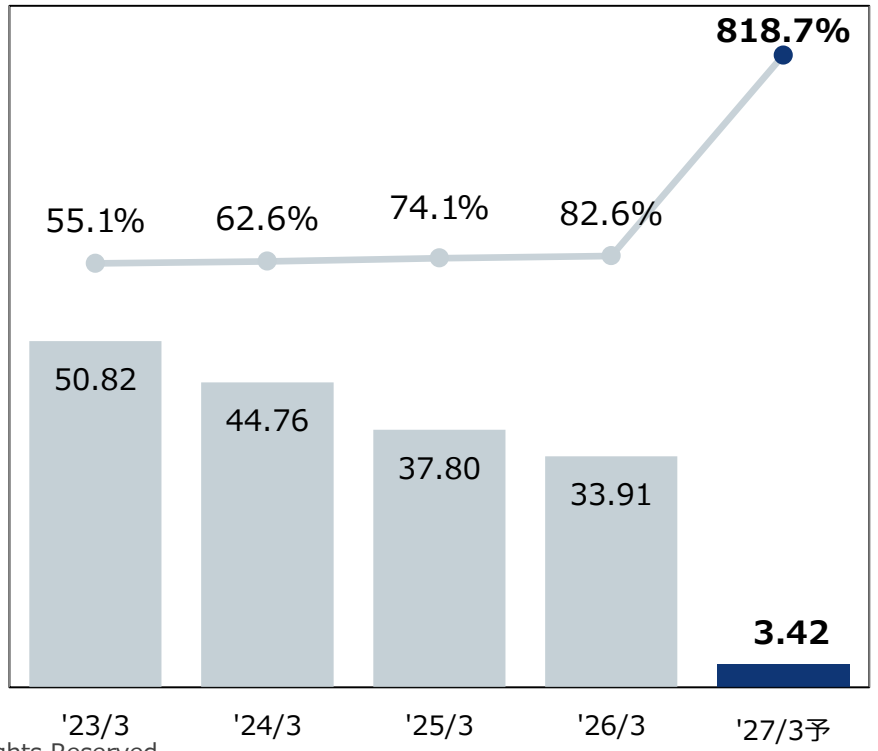
１株当たり配当金の推移

（単位：円）

	‘23/3	‘24/3	‘25/3	‘26/3	‘27/3予
中間配当	14.0	14.0	14.0	14.0	**14.0**
期末配当	14.0	14.0	14.0	14.0	**14.0**
合計	28.0	28.0	28.0	28.0	**28.0**
１株利益	50.82	44.76	37.80	33.91	**3.42**
配当性向	55.1%	62.6%	74.1%	82.6%	**818.7%**

１株利益・配当性向

（単位：円）



Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

つぎの快適をつくろう。

CORONA

【お問合せ先】

〒955-8510　新潟県三条市東新保7-7

株式会社 コロナ　総合企画部広報室

TEL : 0256-35-8558

E-mail : info@hode01.corona.co.jp

本資料に含まれる計画・見通し・戦略など将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、今後、経営環境の変化など様々な要因により当該記述と異なる場合があり得ることをご承知おきください。また、本資料は情報提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

参考資料

- 主な沿革
- 経営理念
- ブランド
- サステナビリティ方針
- 企業ミッション
- コロナのマテリアリティ
- 設備投資・減価償却費・研究開発費の推移（連結）

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

主な沿革

つぎの快適をつくろう。
CORONA

1930 -

1937(S12)
新潟県三条市にて創業

1952(S27)
日本初・加圧式
石油コンロ
発売



1955(S30)
日本初
加圧式石油
ストーブ発売



2025.7
機械遺産認定

1973(S48)
石油給湯機発売



1979(S54)
エアコン市場参入



1979(S54)
石油ファンヒーター発売



1990 -

1992(H4)
商号を「㈱コロナ」に変更

1996(H8)
新潟証券取引所上場

2001(H13)
世界初　自然冷媒CO_2
ヒートポンプ式給湯機
「エコキュート」発売



2006(H18)
東証一部上場

2008(H20)
電気暖房
市場再参入



2010 -

2014(H26)
業界初　地中熱・空気熱
ハイブリッド温水暖房
システム発売



2017(H29)
創業80周年

2019(R1)
リブランディング

つぎの快適をつくろう。
CORONA

2019(R1)
自然対流形
電気暖房機
「ノイルヒート」
発売



2020 -

2021(R3)
エアコンブランド Relala リララ

2022(R4)
東証市場区分見直しによりスタンダード市場へ移行

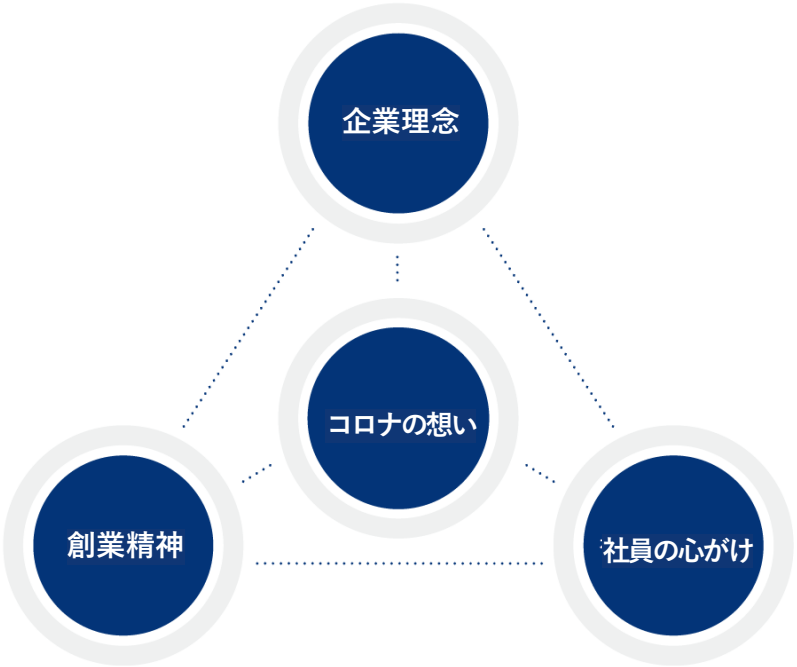
2023(R5)
“暮らしを「楽」から「楽しい」へ”
をコンセプトにした新ブランド
「OUTFIELD」

OUTFIELD
CORONA

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

経営理念

つぎの快適をつくろう。
CORONA



企業理念

**『あなたと共に
夢…新たなライフシーン…を実現し
お客様に喜んでいただけるコロナ』**

～快適・健康で環境にやさしい心豊かな
生活になくてはならないコロナでありたい～

創業精神

［誠実と努力］

- 経営とは信用を得ることである。実践すべき道を忠実に実行する誠実な経営に徹する。
- 誠を尽くして努力すれば不可能はない。必ず道は拓ける。

コロナの想い

［感謝と感動］

- お客様や社会への感謝と人に尽くすことを忘れずに、夢と希望を持ち、明るく仲良く、喜んで働ける「明朗」「愛和」「喜働」のやる気集団を目指したい。
- お客様から感動していただけるような、夢のある商品を生み出すことに情熱を燃やし続けたい。

社員の心がけ

［創造と協創（げんこつの理）］

- 一人ひとりが創造性を発揮し、全社一丸「げんこつの理」の精神のもと、組織総合力を高め、新たな付加価値を創出する。

［チャレンジ For You］

- お客様のために
- 新たな技術と創造
- スピードとステディ
- 情熱と粘り強さ
- オンリーワンを目指す
- やる気集団になる

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

ブランド

快適とは、なにか。

それは、温度や湿度にとどまらない。

ココロとカラダが望むものすべて。

そこには、無限の可能性がある。私たちの未来がある。

さあ、つぎの快適をつくろう。今までの常識に捉われず。

培ってきた技術と経験を注ぎ。

考えよう。追究しよう。開発しよう。

くらしをもっと豊かにするために。

つぎの快適をつくろう。

CORONA

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

コロナグループサステナビリティ方針

私たちコロナグループは、経営理念に基づき、お客様、取引先、株主・投資家、従業員、地域社会など全てのステークホルダーとの継続的で密度の高いコミュニケーションによって深い信頼関係を築き、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、企業価値向上に取り組みます。

1.社会的課題への取り組みと企業価値向上の取り組み

社会のニーズや課題を見据えた商品・サービスを通じて新たな価値を創造することにより、本業を通じた社会的課題の解決と企業価値向上に取り組みます。

2.事業活動を通じた環境問題への取り組み

環境に配慮した製品・サービスを提供するとともに、当社グループの事業活動において、CO2排出量の削減、廃棄物の削減など地球環境保全に取り組みます。

3.人権の尊重

当社グループの事業活動に関わる人々の人権を尊重し行動するとともに、労働安全衛生などに十分配慮した安全・安心の職場環境整備に取り組みます。

4.従業員の能力を最大限に発揮できる風土づくりと人財育成

当社グループで働く全ての人々の多様な個性や働き方を尊重し、個々の能力と熱意を最大限に発揮できる風土づくりと固有技術の伝承を含めた人財育成に取り組みます。

5.公正な企業活動・社会からの信頼

法令や社会規範を遵守することはもとより、公正な競争、高品質な製品の供給、製品や企業情報の適切な開示など誠実かつ公正な企業活動を遂行することにより、社会から高い信頼を得る経営に取り組みます。

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

企業ミッション

つぎの快適をつくろう。
CORONA

コロナはバリューチェーンを通じて価値を創造し、広く社会や環境に貢献する存在であることを目指します。

社会課題

・地球温暖化
（産業・運輸・業務・家庭）
・環境問題
（水・海洋汚染・森林等）
・災害時のレジリエンス性
・高齢者の増加
・労働人口減少
・家事負担、介護負担の増加

ステークホルダーの期待

・働きがい
・多様性/ジェンダー平等
・CO_2排出量削減
・廃棄物の再資源化
・地域貢献
・教育支援
・災害・被災地支援
・製品安全

コロナの事業領域

コロナの使命（企業ミッション）

快適で心はずむ毎日

- 体感できる快適に加え、暮らしを彩る商品を提供し、つかう人の心の満足を生み出す
- ゆとりある暮らしを提案し、家族の日々を充実したものにする

環境にやさしい暮らし

- エネルギーを効率よく利用し、日々の暮らしを環境にやさしいものにする

だれでもいつでも安心な社会

- 家庭内の不安※を軽減し、暮らしの安心を守る
- だれでも使いやすく高品質な商品・サービスで、つかう安心を提供する
- 従業員の活躍促進に取り組み、全ての人が活躍できる社会の一翼を担う
- 平時も非常時も、安心でレジリエンスな社会の実現に貢献する

※入浴事故や熱中症など家庭内に潜む不安要素

事業活動

バリューチェーン

商 品

サービス

価値創造

お取引先
持続的な成長

社会
持続可能な社会の実現
CO_2排出量削減
生活文化の向上

お客様
期待以上の商品・サービス
ゆとりあるライフスタイル
家庭内の不安軽減

従業員
誰もが働きやすい職場
1人1人が活躍できる機会

株主
長期的な信頼・還元

社会全体

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

コロナのマテリアリティ

つぎの快適をつくろう。
CORONA

コロナグループでは、8テーマ、19個の重点取り組みから構成されるマテリアリティ(重要課題)に取り組む。

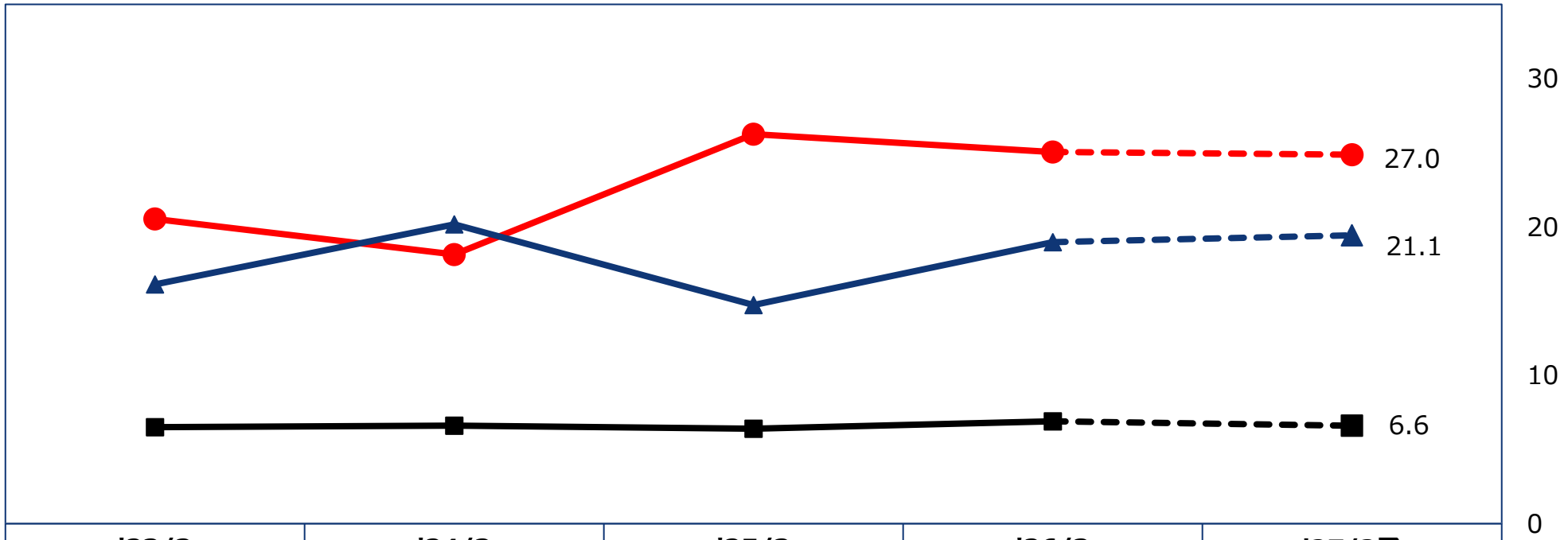
		テーマ	重点取り組み
K 快適で 心はずむ毎日	体感できる快適に加え、暮らしにゆとりや彩りを。つかう人の心の満足も生み出します。	暮らしの質・心の豊かさ	ゆとりや楽しさを生む製品・サービス開発
E 環境にやさしい暮らし	日々の暮らしを環境にやさしいものに。毎日つかうものだから、エネルギーを効率よく利用し、地球環境に配慮します。	気候変動対策	事業活動を通じたCO2排出量削減 製品を通じたCO2排出量削減 環境配慮型機器の開発・普及 灯油使用を抑えた機器の開発
S だれでもいつでも 安心な社会	だれでもつかいやすく、いつでも安心を。事業を通じて、安心でレジリエンスな社会の実現に貢献します。	お客様の安全・安心 従業員の活躍 パートナーシップ	製品安全・品質向上 レジリエンス・家庭内の不安軽減 アフターサービス・サポート体制の充実 従業員エンゲージメントの向上 人財育成 ワークライフバランスの向上 ダイバーシティ推進 ハラスメント防止 サステナビリティ調達の促進
G ガバナンス		コーポレートガバナンス リスクマネジメント コンプライアンス	コーポレートガバナンス体制の強化 リスクマネジメント体制の強化 情報セキュリティ・個人情報取り扱い強化 安定調達・安定供給 コンプライアンス強化

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移（連結）

つぎの快適をつくろう。
CORONA

（単位：億円）



	'23/3	'24/3	'25/3	'26/3	'27/3予
設備投資	22.3	19.7	28.5	27.2	27.0
減価償却	17.5	21.9	16.0	20.6	21.1
研究開発	6.5	6.6	6.4	6.9	6.6

Copyright © CORONA CORPORATION All Rights Reserved